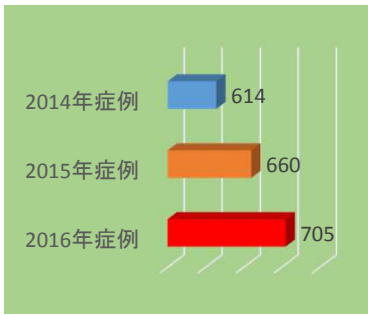
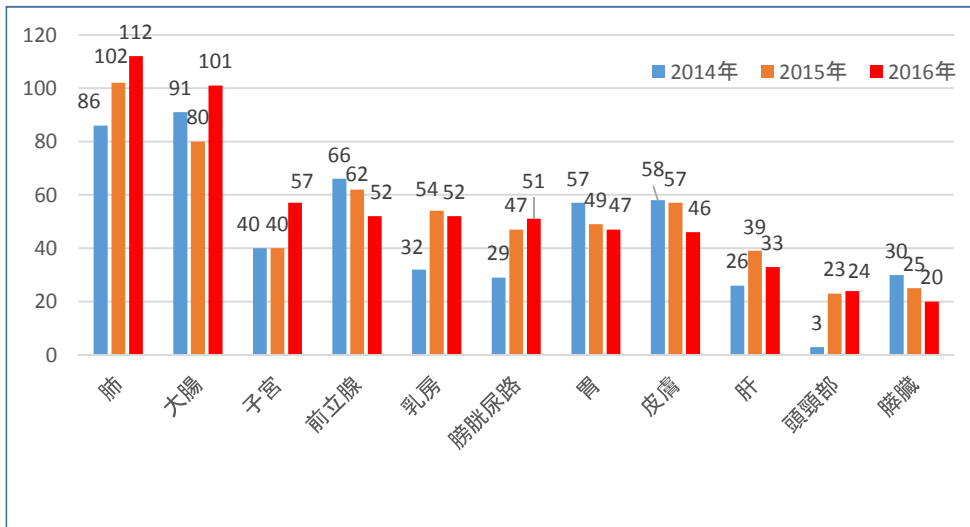


2016年 院内がん登録患者状況



収集の対象は、平成28(2016)年1月1日から12月31日までの1年間に、当院で診断または他施設で既に診断されて当院に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の患者である。

2016年の全登録数は705症例で、昨年と比べて45症例増加した。増加の理由として、2016年は熊本地震があり、熊本市内や天草地域等の医療機関からの紹介患者が増加したこと、又2016年より『全国がん登録』が始まり、登録候補の見つけ出しの運用マニュアルが改定され、登録漏れが減ったことによるものと思われる。



部位別登録件

部位	2014年	2015年	2016年
肺	86	102	112
大腸	91	80	101
子宮	40	40	57
前立腺	66	62	52
乳房	32	54	52
膀胱尿路	29	47	51
胃	57	49	47
皮膚	58	57	46
肝	26	39	33
頭頸部	3	23	24
膀胱	30	25	20
造血リンパ	6	16	20
他女性器	12	10	17
他消化器	18	8	14
腎	8	10	14
甲状腺	6	4	13
脳	20	12	7
食道	6	6	7
その他	3	7	7
胆嚢	12	4	6
原発不明	5	5	5

登録上位10部位

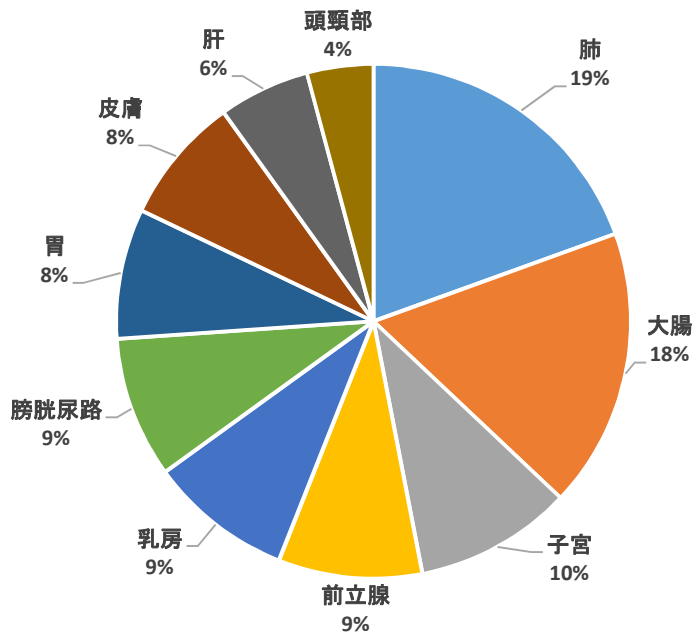


図1:性別・部位別の上位順

図1

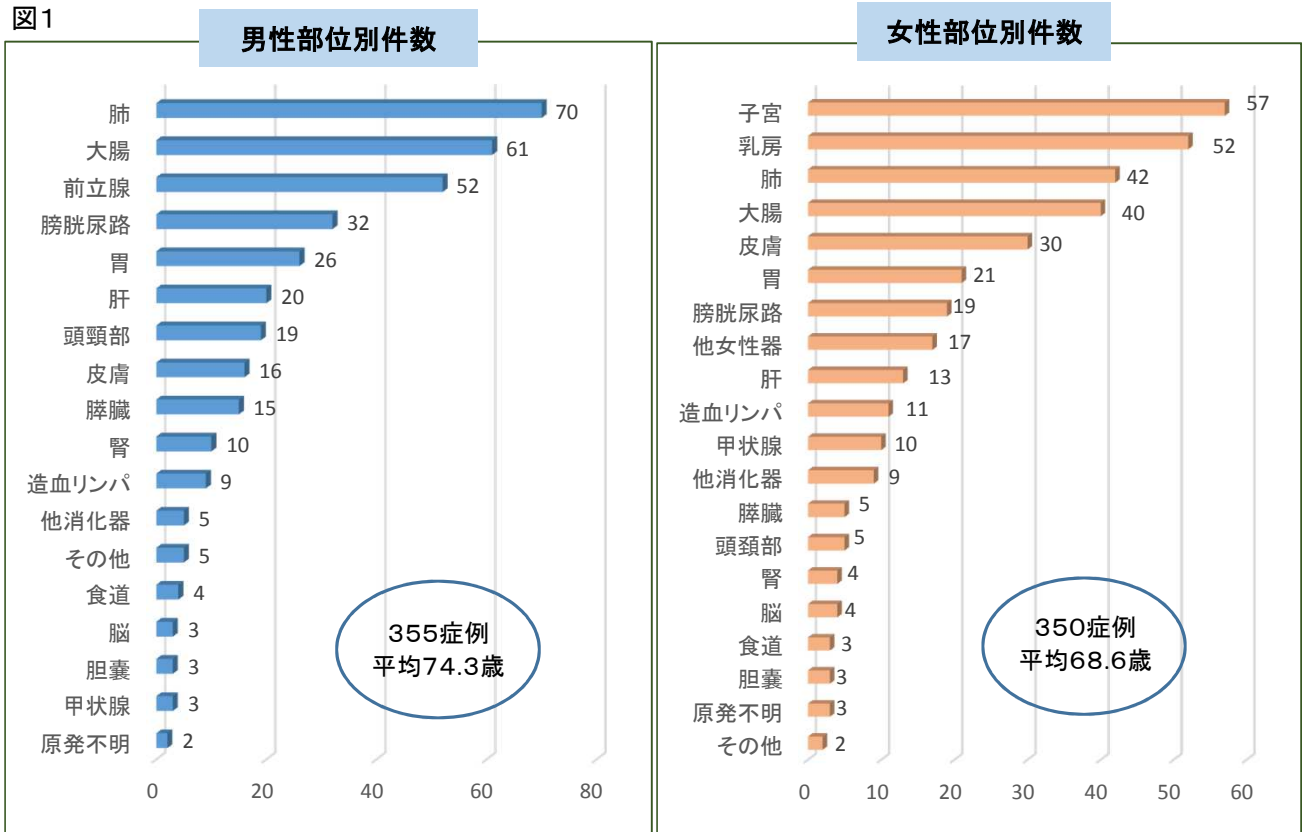


図2: 5部位(cStage別)割合

(ステージ分類は、UICC TNM分類。ただし、肝がんについては、取扱い規約分類。)

図2

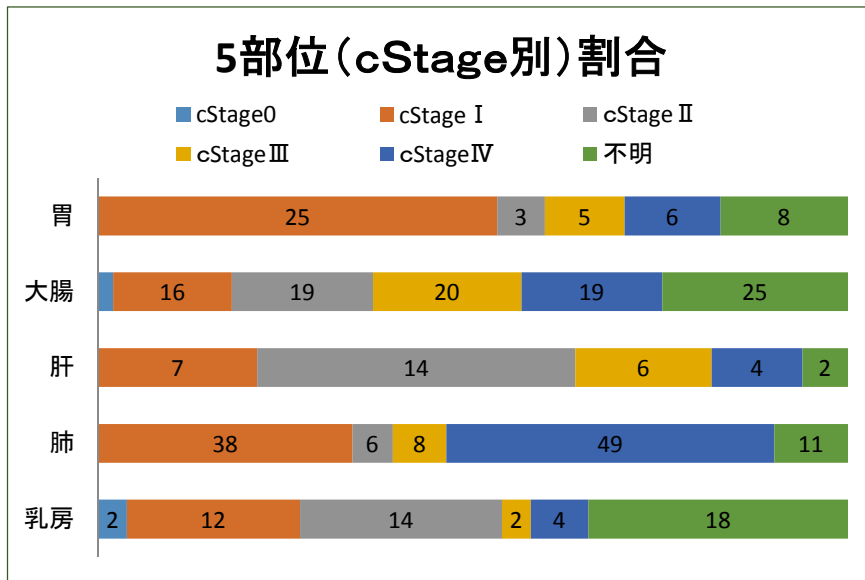
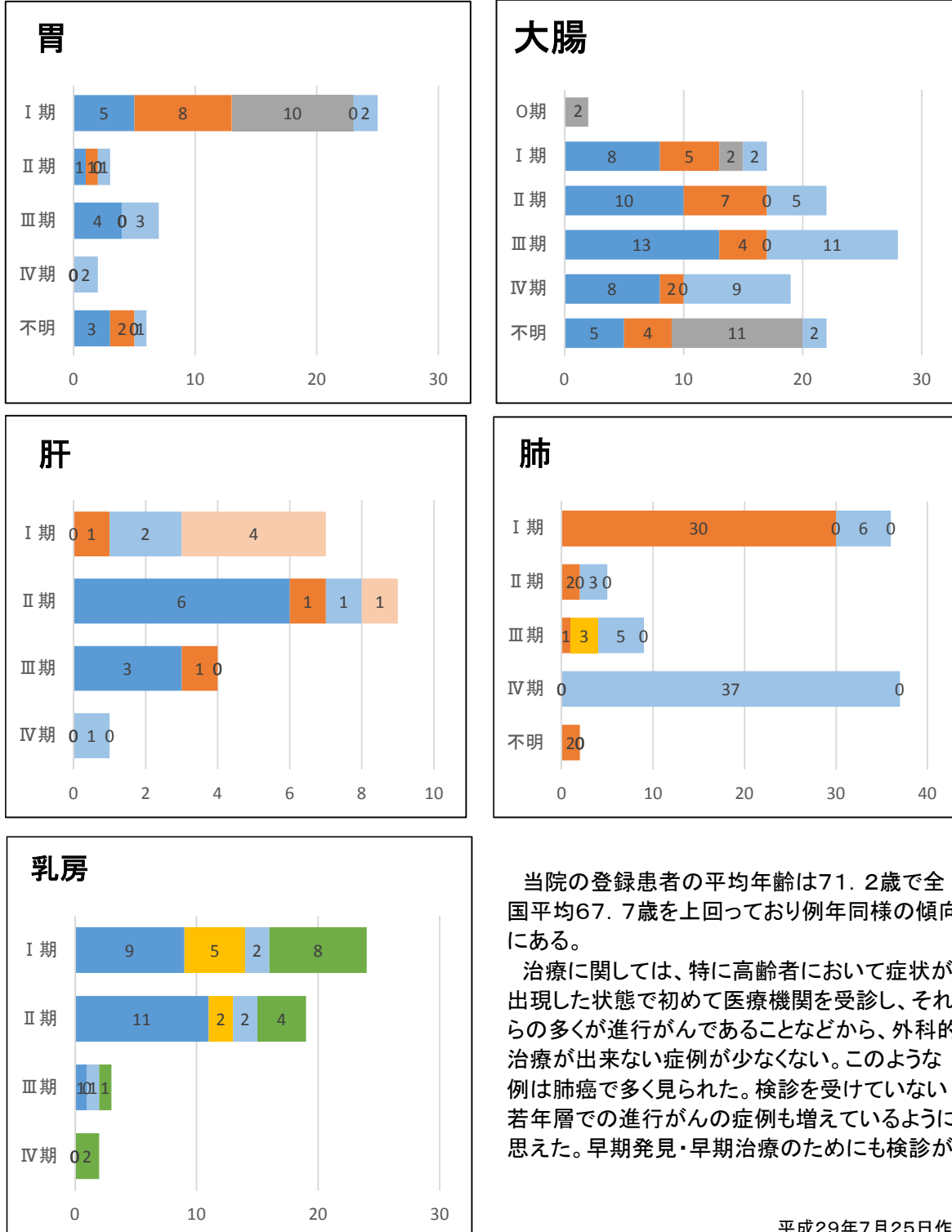


図3: 治療前ステージ別治療方法

■ 外科的 ■ 体腔鏡的 ■ 内視鏡的 ■ 放射線 ■ 化学 ■ 内分泌 ■ その他 (RFA等)

図3



当院の登録患者の平均年齢は71.2歳で全国平均67.7歳を上回っており例年同様の傾向にある。

治療に関しては、特に高齢者において症状が出現した状態で初めて医療機関を受診し、それらの多くが進行がんであることなどから、外科的治療が出来ない症例が少なくない。このような例は肺癌で多く見られた。検診を受けていない若年層での進行がんの症例も増えているように思えた。早期発見・早期治療のためにも検診が

平成29年7月25日作成
診療情報管理室
院内がん登録担当: 村田